

# 第84回日本インターフェロン・ サイトカイン学会学術集会

サイトカインを標的とした  
次世代治療薬への展望

take

プログラム・抄録集

■会期 2019年8月2日(金)・3日(土)

■会場 神戸国際会議場

■大会長 佐野 統

京都岡本記念病院 院長 / 兵庫医科大学 名誉教授





The 84<sup>th</sup> Annual Meeting of  
the Japanese Society of Interferon & Cytokine Research

# 第84回日本インターフェロン・ サイトカイン学会学術集会

プログラム・抄録集

## サイトカインを標的とした 次世代治療薬への展望

- 会期 2019年8月2日(金)・3日(土)
- 会場 神戸国際会議場
- 大会長 佐野 統  
京都岡本記念病院 院長 / 兵庫医科大学 名誉教授

### 第84回 日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会

- 事務局  
兵庫医科大学内科学 リウマチ・膠原病科  
〒663-8501 西宮市武庫川町1-1  
TEL:0798-45-6591 FAX:0798-45-6593
- 運営事務局  
株式会社 エー・イー企画 大阪オフィス内  
〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14 新大阪グランドビル6階  
TEL:06-6350-7247 FAX:06-6350-7164  
E-mail: jsicr84@aeplan.co.jp



# ご挨拶

第84回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会

大会長 **佐野 統** 京都岡本記念病院 院長／  
兵庫医科大学 名誉教授



謹 啓

皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、第84回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会を2019年8月2日(金)、3日(土)の2日間、神戸国際会議場で開催させて頂くことになりました。大変光栄なことと存じますとともに、この伝統ある学会に恥じない立派な学術集会にできるように全力を尽くす所存でございます。

本学会は、1961年に長野泰一先生により始められた「ウイルス抑制物質研究会」を端初として、「日本インターフェロン研究会」を経て、1998年より現在の「日本インターフェロン・サイトカイン学会」と改名されました。これまで実に81回の学術集会を行い、国際インターフェロン・サイトカイン学会を2回招致されました。この間、インターフェロンなどの国際標準品を設定するWHOの生物薬品専門家会議にも代表が送られており発展に寄与されてきました。その結果、難病とされていた炎症性疾患である関節リウマチを始め、乾癬、クローン病、大動脈症候群、アトピー性皮膚炎、気管支喘息などは、インターフェロン・サイトカインに対する抗体製剤が治療応用され、驚くような治療成績を上げており、これらの効果は各疾患においてパラダイムシフトを起こしたことは間違いのない事実です。この成果も、基礎研究から始まり臨床応用までを本学会で分野を超えて縦断的・横断的な講演と討論から生まれてきたものと考えております。このような背景から、第84回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会のメインテーマは「サイトカインを標的とした次世代治療薬への展望」と致しました。

今回、特別講演には Toll 様受容体やサイトカイン受容体からの細胞内シグナルの研究の世界の第一人者であり、兵庫医科大学名誉教授でもあります審良静男先生(大阪大学免疫学フロンティア研究センター拠点長)をお願いしております。更に、5つのシンポジウム、7つのセミナーを通して、臨床への応用が著しく発展してきたサイトカインの基礎的研究分野で、先導的研究を展開している国内の研究者による発表と学会員との熱い討論を期待しております。

神戸港は、「務古水門(むこのみなと)」「大輪田の泊(おおわだのとまり)」と呼ばれていた古くから中国大陸や朝鮮半島の港と交流していました。近年では、平成7年(1995年)1月の阪神・淡路大震災により大きな被害を受けましたが、わずか2年で施設復旧を完了しました。平成18年には神戸空港が開港し、神戸は海・空・陸の総合交通体系が確立され、人・物・情報の交流拠点です。この神戸の地で、我が国のインターフェロン・サイトカインを標的とした次世代治療薬への展望を皆様とともに考えてみたいと思っております。

多くの方々、特に次世代を担う若い研究者のご参加と活発な議論を心より期待しております。

謹 白

2019年7月吉日

# 大会概要

大会名：第84回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会

大会長：佐野 統（京都岡本記念病院 院長／兵庫医科大学 名誉教授）

副会長：松井 聖（兵庫医科大学内科学リウマチ・膠原病科 教授）

主催：日本インターフェロン・サイトカイン学会

会長：高岡 晃教（北海道大学 遺伝子病制御研究所）

開催期間：2019年8月2日（金）～3日（土）

開催場所：神戸国際会議場

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1

## 【事務局】

兵庫医科大学内科学 リウマチ・膠原病科

〒663-8501 西宮市武庫川町1-1

TEL：0798-45-6591 FAX：0798-45-6593

## 【運営事務局】

株式会社 エー・イー企画 大阪オフィス内

〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14

新大阪グランドビル6階

TEL：06-6350-7247 FAX：06-6350-7164

E-mail：jsicr84@aeplan.co.jp

# 学会参加者へのご案内とお知らせ

【会 場】 神戸国際会議場  
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1  
TEL : 078-302-5200  
<https://kobe-cc.jp/ja/>

## 1. 参加者受付

場 所：神戸国際会議場 3階 ロビー

時 間：8月2日(金) 8:00～18:00

8月3日(土) 8:00～16:00

- 参加受付にて参加証と抄録集および領収書をお渡しいたします。
- 参加証は会場内では常時ご着用ください。
- 「事前登録」されている方：事前に参加登録された方(参加費振込済の方)は、受付にて名前の入った参加証および抄録集をお渡しいたします。参加費未納の方は、当日受付で参加費を納入の上、参加証と抄録集をお受け取りください。
- 非会員でシンポジウム発表される方：受付にて名前の入った参加証、および抄録集をお渡しいたします。
- 当日参加申込みの方：当日申込みの方は、参加申込書にご記入頂き、当日受付で参加費を納入の上、参加証と抄録集をお受け取りください。参加証には、ご氏名、ご所属をご記入ください。
- 名誉会員、賛助会員の方：「来賓受付」にお越しください。参加証と抄録集をお渡しいたします。

## 【参加費】

	事前登録	当日登録
【学術集会参加費】		
一般会員	5,000円	6,000円
一般非会員	7,000円	10,000円
学生(学部・大学院)	3,000円	4,000円
【意見交換会参加費】		
一般会員・非会員	3,000円	3,000円
学生(学部・大学院)	1,000円	1,000円

※大学院生、学部学生の方は、必ず学生証をご提示ください。

※参加費はすべて非課税です。

## 2. クローク

場 所：神戸国際会議場 3階 ロビー

時 間：8月2日(金) 8:00～20:30  
8月3日(土) 8:00～17:00

貴重品等はお預りできかねますのでご了承ください。  
お荷物は当日中にお引き取りください。

## 3. 総 会

2019年8月3日(土)11:45より、第1会場(神戸国際会議場 3階 国際会議室)にて開催いたします。

## 4. 懇親会のお知らせ

場 所：ポスター会場(神戸国際会議場 3階 レセプションホール)

日 時：8月2日(金) 18:05～20:00

参加費：一般(会員・非会員)3,000円、学生1,000円です。当日受付でお申し込みください。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

## 5. 講演会場内での撮影

講演会場内での写真撮影・録音はご遠慮ください。

著作者に許可のない録音・録画及び写真撮影は著作権法違反となります。

場内で見かけた際にはお声掛けさせていただきますので、予めご了承ください。

なお、記録として大会で撮影・録音をさせていただく場合がございます。

## 6. 会場内の呼び出し

原則として、会場内の呼び出しはいたしません。受付付近の掲示板をご利用ください。

## 7. 落とし物

参加受付(3階ロビー)にてお預かりいたします。

## 8. お問い合わせ先

第84回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会 運営事務局

〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14 新大阪グランドビル6階

株式会社エー・イー企画 大阪オフィス内

TEL：06-6350-7247 FAX：06-6350-7164

E-mail：jsicr84@aeplan.co.jp

会期中のお問合せ先（運営本部）：神戸国際会議場 3階 302

# 座長・演者の皆様へ

## 優秀演題賞発表について

一般演題（ポスター発表）の中から優秀演題賞を選考します。表彰は8月3日（土）16:35から優秀演題賞表彰式／閉会式を行いますので、ポスター発表者は必ずご出席ください。

## 座長の方へ

### ■講演の座長の方へ

担当セッション15分前までに各会場内の次座長席にお着きください。  
進行は、時間厳守でお願いいたします。

### ■ポスター座長の方へ

ポスター座長受付（神戸国際会議場 3階 レセプションホール）に開始時刻15分前までにお越しください。

### ■講演者の方へ

#### 1. 講演時間

発表時間、討議、総合討論の有無については事前にご案内したとおりです。発表終了1分前および終了時にランプでお知らせいたします。指定された発表時間厳守でプログラムの進行にご協力くださいますようお願い申し上げます。次演者は、前演者が登壇されましたら、次演者席で待機してください。

#### 2. ご発表データ受付について

本学術集会ではPC受付はございません。ご発表される会場の前方にございます、映像オペレーター卓まで、ご持参頂きますよう、お願いいたします。

発表時間の30分前までに、発表データ試写確認をお願いします。

PC持込み、データ持込みに関わらず、口演発表者は必ずお立ち寄りください。

円滑な運営のため、データ修正等は事前にお済ませの上、会場へお越しください。

	PC持込み	メディア(USBメモリー、CD-R)持込み
Windows	○	○
Macintosh	○	×

#### 1) メディア持込み・PC持込みについて

ご持参いただくデータの損失を避けるため、必ず事前にバックアップを取ってください。

#### 【メディア持込みの場合】

お持込みいただけるメディアは、USBメモリーまたはCD-Rです。保存データは、必ず事前にご自身のPC以外でも動作確認を行ってください。

ウイルス定義データを最新のものに更新した状態のセキュリティーソフトで、データがウイルス感染していないことを確認した上で発表データをお持込みください。

## 【PC 持込みの場合】

Macintosh でデータを作成された場合にはご自身の PC をお持ちください。

バッテリーでのご使用はトラブルの原因となりますので、必ず AC アダプターをご用意ください。

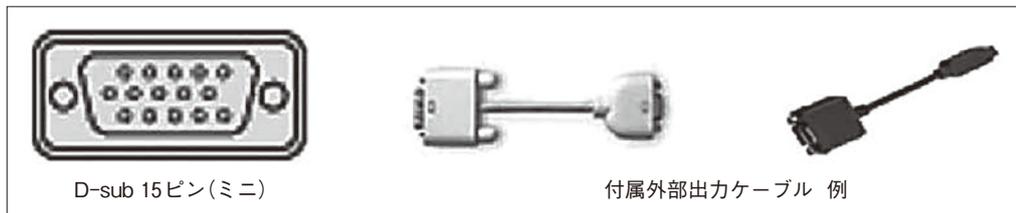
予め、スクリーンセーバーやウイルスチェックならびに省電力設定を解除してからお持ち込みください。

PC や OS によって設定方法が異なりますので、事前にご確認ください。

起動時にパスワードなどを設定している場合は、必ず解除しておいてください。

利用機種・OS・アプリケーションに制限はありませんが、D-sub15ピンによるモニター出力が必要です。ご持参いただく PC から D-sub15ピンへの変換コネクタが必要な場合には、各自でご用意ください。D-sub15ピン以外の接続はお受けできませんので予めご了承ください。

D-sub 15ピン／付属外部出力ケーブル 例



## 2) 発表データの作成にあたって

- ① 講演会場にてご用意するパソコン OS は Windows7、アプリケーションは PowerPoint です。Macintosh でデータを作成される場合には、ご自身の PC をご持参ください。
- ② 文字フォントは Windows 版 Microsoft PowerPoint に標準搭載されたものをご使用ください。なお、ご自身の PC を持込む場合は、以下のフォントに限りません。  
日本語：MS ゴシック・MSP ゴシック・MS 明朝・MSP 明朝  
英語：Times New Roman・Arial・Arial Black・Arial Narrow・Century・Century Gothic・Courier・Courier New・Georgia  
※上記指定外のフォントを使用した場合、文字、段落のずれ、文字化け、表示されないなどのトラブルが発生する可能性があります。また、Macintosh のフォントや特殊なフォントには対応できませんので、必ずご自身の PC をご持参ください。
- ③ 液晶プロジェクターの解像度は XGA (1024 × 768dpi) です。全講演会場とも一面映写です。
- ④ PowerPoint の「発表者ツール」機能は使用できません。予めご了承ください。

## 3) 動画・音声の利用について

発表で動画を使用される場合は、発表時のトラブルを避ける為、PC 本体のお持ち込みを推奨いたします。

ノート PC から外部モニターに正しく出力されるか、再生できることを PC 受付で事前に必ずご確認ください。

動画ファイルは「Windows Media Player」での再生となります。

各講演会場では、音声の出力も可能です。

バックアップでご自身の PC をご持参ください。

## ■ポスター演者の方へ

### 1. 発表時間

発表者は、ボードに貼付してある演者リボンをつけ、発表開始時刻の10分前に、ご自身のポスターの前で待機してください。発表時間は、1演題7分(発表4分、討論3分)です。座長の進行に従ってご発表ください。

ポスターセッションの時間は20～25分余るように設定しております。

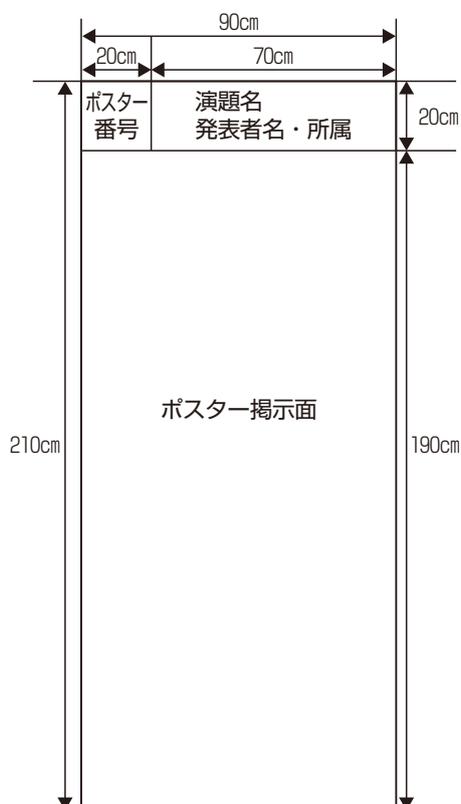
初日、2日目とも若手症例賞に応募の先生(発表のない先生)も含めて、ポスター演者の先生はポスター前で自由討論もよろしく御願います。

### 2. ポスター貼付・撤去

ポスター貼付スペースは、縦160cm、横90cmです。スペース内で収まるようにポスターをご準備ください。ポスターの他、演題名・所属・演者名(幅70cm、高さ20cm)は各自ご用意ください。演題番号は運営事務局にてご用意いたします。掲示用の画鋏は運営事務局にてポスター会場に準備いたします。

	8月2日(金)	8月3日(土)
ポスター貼付	8:00～10:00	—
ポスター自由閲覧	10:00～	9:00～
ポスター発表・採点	13:10～14:10	11:00～11:45
ポスター撤去	—	15:00～16:30

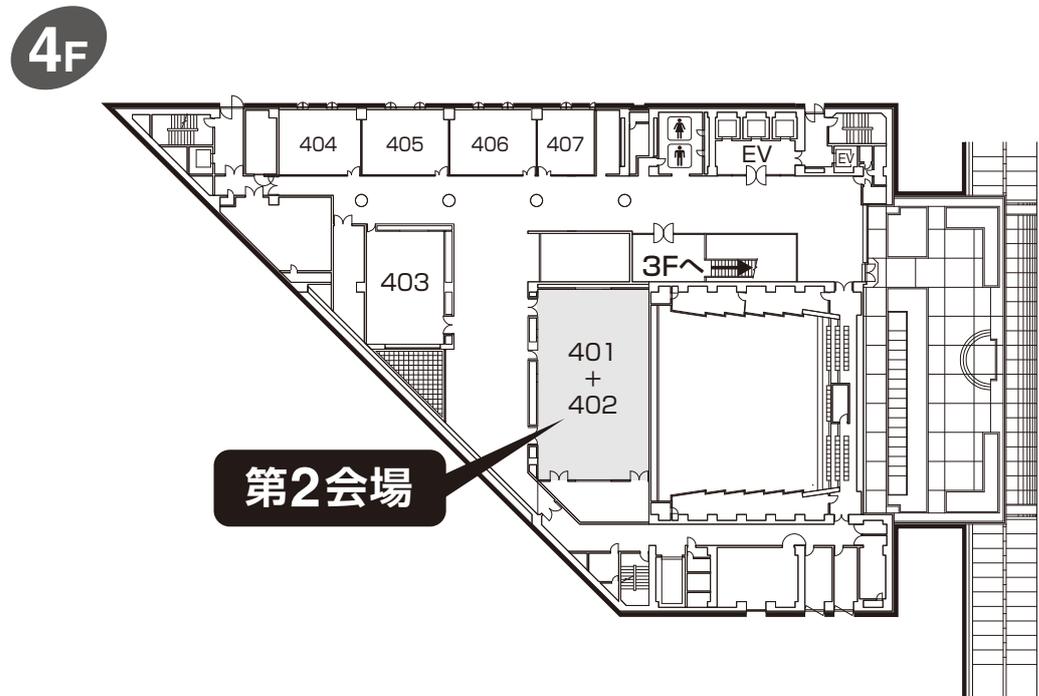
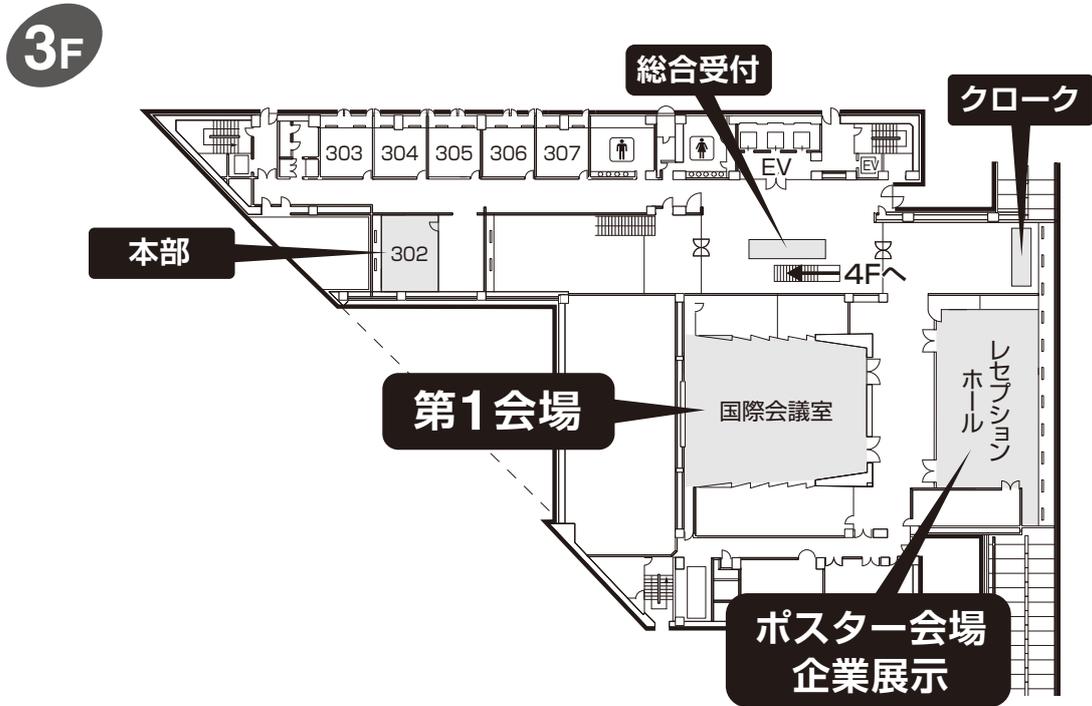
※時間内に責任を持って撤去してください。撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターにつきましては、運営事務局にて撤去・処分いたしますので予めご了承ください。



- 使用パネルは縦210cm、横90cmとなりますが、パネルの下30cmは貼り付けできません(下まで掲示すると見えにくくなります)。

# 会場案内図

神戸国際会議場 3F・4F



# 日 程 表

2019年 8月2日(金)

	第 1 会 場 3階 国際会議室	第 2 会 場 4階 401+402	ポスター会場 3階 レセプションホール
8:00			8:00~10:00
9:00	8:50~9:00 <b>開 会 挨拶</b>		ポスター 貼付
10:00	9:00~10:20 <b>シンポジウム 1</b> <b>臓器別疾患とサイトカイン</b> 座 長：吉村 昭彦(慶應義塾大学)、中村 志郎(兵庫医科大学) 講演者：中村 志郎(兵庫医科大学)、宮崎 孝子(兵庫医科大学) 黒田 悦史(兵庫医科大学)、伊藤 美菜子(慶應義塾大学)		
11:00	10:25~11:45 <b>シンポジウム 2</b> <b>腸内細菌叢と疾患</b> 座 長：西城 忍(千葉大学)、大野 博司(理化学研究所) 講演者：大野 博司(理化学研究所)、後藤 義幸(千葉大学) 山本 雅裕(大阪大学)、辻 典子(産業技術総合研究所)	10:50~11:50 <b>若手奨励賞セッション 1</b> 座長：高岡 晃教(北海道大学) 岩倉 洋一郎(東京理科大学)	ポスター 自由閲覧
12:00	12:00~13:00 <b>ランチョンセミナー 1</b> <b>自己免疫性疾患・炎症性疾患におけるIL-6シグナル阻害の意義</b> 座 長：土橋 浩章(香川大学医学部附属病院) 講演者：池田 啓(千葉大学医学部附属病院) 共催：中外製薬株式会社	12:00~13:00 <b>ランチョンセミナー 2</b> <b>リウマチ性疾患における サイトカイン標的治療</b>	
13:00		座 長：佐野 統 (京都岡本記念病院/兵庫医科大学) 講演者：田中 良哉 (産業医科大学) 共催：あゆみ製薬株式会社	13:10~14:10
14:00			ポスター 発表
15:00	14:15~15:35 <b>シンポジウム 3</b> <b>ウイルスと自己炎症疾患</b> 座 長：藤田 尚志(京都大学)、西小森 隆太(久留米大学) 講演者：西小森 隆太(久留米大学)、井澤 和司(京都大学医学部附属病院) 早田 信正(京都大学)、藤田 尚志(京都大学)		14:10~18:05
16:00	15:45~16:45 <b>イブニングセミナー 1</b> <b>臨床応用が進むがん免疫療法の基礎</b> 座 長：松井 聖(兵庫医科大学) 講演者：西川 博嘉(名古屋大学/国立がん研究センター) 共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社	15:45~16:45 <b>イブニングセミナー 2</b> <b>脊椎関節炎 Update ~ IL17阻害薬の役割~</b>	ポスター 自由閲覧
17:00	16:55~17:55 <b>特別講演</b> <b>免疫・炎症応答に関わるリボスクレアーゼ Reganase-1</b> 座 長：佐野 統(京都岡本記念病院/兵庫医科大学) 講演者：審良 静男(大阪大学)	座 長：田村 直人 (順天堂大学) 講演者：岸本 暢将 (聖路加国際病院) 共催：ノバルティスファーマ株式会社	
18:00			18:05~20:00 <b>懇 親 会</b>

2019年 8月3日 土

	第 1 会 場 3階 国際会議室	第 2 会 場 4階 401 + 402	ポスター会場 3階 レセプションホール
8:30	8:30~9:30 <b>モーニングセミナー</b> TNF阻害剤の基礎と臨床 ~RA、SpA、BDの病態形成とサイトカイン~ 座 長：桑名 正隆 (日本医科大学) 講演者：柱本 照 (神戸大学) 共催：田辺三菱製薬株式会社		
9:00			9:00~11:00
10:00	9:35~10:55 <b>シンポジウム 4</b> トランスレーショナルリサーチを活かす産学共同と AMED 研究の現状と展望 座 長：久保 允人 (東京理科大学)、田中 良哉 (産業医科大学) 司会進行：鈴木 忍 (京都大学) パネリスト：梶島 健治 (京都大学) 講演者：葭仲 潔 (経済産業省)、高子 徹 (日本医療研究開発機構) 荒森 一郎 (日本医療研究開発機構)、仲 哲治 (高知大学)		ポスター 自由閲覧
11:00		10:45~11:45 <b>若手奨励賞セッション 2</b> 座 長：松島 綱治 (東京理科大学) 原 博満 (鹿児島大学)	11:00~11:45 ポスター 発表
12:00	11:45~12:15 <b>総 会</b>		11:45~15:00
13:00	12:20~13:20 <b>ランチョンセミナー 3</b> インターフェロン、サイトカインによる過剰な炎症は 妊娠合併症、胎児脳発達障害の原因となる 座 長：佐野 統 (京都岡本記念病院/兵庫医科大学) 講演者：齋藤 滋 (富山大学) 共催：旭化成ファーマ株式会社	12:20~13:20 <b>ランチョンセミナー 4</b> 関節リウマチの治療の現状 ~最適化した治療とその問題点~	ポスター 自由閲覧
14:00	13:30~15:30 <b>シンポジウム 5</b> 臨床応用されたサイトカイン療法の現状と今後の展望 座 長：佐野 統 (京都岡本記念病院/兵庫医科大学) 善本 隆之 (東京医科大学) 講演者：田村 直人 (順天堂大学)、今井 康友 (兵庫医科大学) 桑名 正隆 (日本医科大学)、東條 有伸 (東京大学) 中野 裕康 (東邦大学)、小松 則夫 (順天堂大学)	座 長：東條 有伸 (東京大学) 講演者：川人 豊 (京都府立医科大学) 共催：帝人ファーマ株式会社	
15:00			15:00~16:30
16:00	15:35~16:35 <b>奨励賞受賞者講演</b> 座 長：佐野 統 (京都岡本記念病院/兵庫医科大学) 講演者：伊藤 美菜子 (慶應義塾大学) 柳井 秀元 (東京大学先端科学技術研究センター)		ポスター 撤去
17:00	16:35~16:55 <b>ポスター賞授賞式 / 閉会挨拶</b>		
18:00			

# プログラム

第1日目 2019年8月2日(金)

会場：神戸国際会議場

8:50～9:00 開会挨拶

9:00～10:20 シンポジウム1

第1会場(3階 国際会議室)

座長：吉村 昭彦(慶應義塾大学医学部微生物学免疫学教室)

中村 志郎(兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門)

## [ 臓器別疾患とサイトカイン ]

### S1-1 潰瘍性大腸炎 内科治療の進歩と現状

○中村 志郎<sup>1)</sup>、宮崎 孝子<sup>1)</sup>、樋田 信幸<sup>1)</sup>、渡辺 憲治<sup>2)</sup>

1) 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座 内科部門、2) 兵庫医科大学 腸管病態解析学講座

### S1-2 クロウン病に対する ustekinumab (UST) の有効性の検討

○宮崎 孝子<sup>1)</sup>、賀来 宏司<sup>1)</sup>、木下 直彦<sup>1)</sup>、小島 健太郎<sup>1)</sup>、小柴 良司<sup>1)</sup>、藤本 晃士<sup>1)</sup>、  
佐藤 寿行<sup>2)</sup>、河合 幹夫<sup>1)</sup>、上小鶴 孝二<sup>1)</sup>、横山 陽子<sup>1)</sup>、樋田 信幸<sup>1)</sup>、渡辺 憲治<sup>2)</sup>、  
中村 志郎<sup>1)</sup>

1) 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座 内科部門、2) 兵庫医科大学 腸管病態解析学

### S1-3 肺免疫と DAMP 誘導型アジュバント

○黒田 悦史<sup>1)2)</sup>、石井 健<sup>2)3)</sup>

1) 兵庫医科大学 免疫学講座、2) 医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター、  
3) 東京大学 医科学研究所 感染免疫部門 ワクチン科学分野

### S1-4 脳内炎症における制御性 T 細胞の意義の解明

○伊藤 美菜子、吉村 昭彦

慶應義塾大学 医学部 微生物学免疫学教室

10:25～11:45 シンポジウム2

第1会場(3階 国際会議室)

座長：西城 忍(千葉大学真菌医学研究センター)

大野 博司(理化学研究所生命医科学研究センター 粘膜システム研究チーム)

## [ 腸内細菌叢と疾患 ]

### S2-1 腸内細菌叢と疾患の発症・病態との関わり

○大野 博司<sup>1)2)</sup>

1) 国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター 粘膜システム研究チーム、  
2) 神奈川県立産業技術総合研究所 腸内細菌叢プロジェクト

### S2-2 腸内細菌は腸管における病原性真菌の定着を阻害する

○後藤 義幸<sup>1)2)</sup>

1) 千葉大学 真菌医学研究センター 感染免疫分野、  
2) 東京大学 医科学研究所 国際粘膜ワクチン開発研究センター 粘膜共生学分野

## S2-3 常在グラム陰性細菌に対する Caspase-11 インフラマソームの制御機構

○山本 雅裕

大阪大学 微生物病研究所 感染症態分野

## S2-4 乳酸菌による粘膜免疫の賦活と腸管恒常性の維持

○辻 典子

産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門

10:50~11:50

## 若手奨励賞セッション1

第2会場(4階 401 + 402)

座長：高岡 晃教(北海道大学遺伝子病制御研究所分子生体防御分野)

岩倉 洋一郎(東京理科大学・生命医学研究所)

## YO-01 IL-12 ファミリーサイトカインの共通サブユニット EB13 による樹状細胞の成熟化における MHC クラス I 発現の増強

○井上 慎也<sup>1)</sup>、溝口 出<sup>2)</sup>、長谷川 英哲<sup>2)</sup>、折井 直子<sup>2)</sup>、川名 千晶<sup>2)</sup>、米戸 敏彦<sup>2)</sup>、徐 明利<sup>2)</sup>、善本 隆之<sup>2)</sup>

1) 東京薬科大学 生命科学部 生命医科学科、2) 東京医科大学 医学総合研究所 免疫制御研究部門

## YO-02 全身性真菌感染症によって誘導される IL-10 高産生新規ヘルパー T 細胞サブセット Tr2 の同定

○但馬 正樹<sup>1)2)3)</sup>、Strober Warren<sup>2)</sup>

1) 神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 免疫機構研究部、  
2) Laboratory of Clinical Immunology and Microbiology, NIAID, NIH、  
3) 京都大学大学院医学研究科 免疫ゲノム医学

## YO-03 抑制性受容体 CD300a を介した肥満細胞脱顆粒の自己調節

○Wang Yaqiu<sup>1)2)</sup>

1) 筑波大学 グローバル教育院 ヒューマンバイオロジー学位プログラム、2) 筑波大学 免疫学研究室

## YO-04 当科における好酸球性副鼻腔炎合併難治性気管支喘息3症例に対する Benralizumab の治療経過

○吉川 卓宏、横山 雄一、古川 哲也、田村 誠朗、橋本 哲平、森本 麻衣、東 直人、松井 聖

兵庫医科大学 内科学 リウマチ・膠原病科

## YO-05 生物に普遍的に存在する分泌型リボネクレーゼ遺伝子欠損マウスの表現型解析

○王 辰<sup>1)</sup>、角田 茂<sup>1)</sup>、小川 哲弘<sup>2)</sup>、岩本 京夏<sup>2)</sup>、餅井 眞太郎<sup>1)</sup>、Desamero Mark Joseph<sup>1)</sup>、藤井 渉<sup>3)</sup>、チェンバース ジェームズ<sup>4)</sup>、内田 萌菜<sup>5)</sup>、村山 正承<sup>6)</sup>、小川 修平<sup>6)</sup>、米澤 智洋<sup>5)</sup>、中山 裕之<sup>4)</sup>、岩倉 洋一郎<sup>6)</sup>、久和 茂<sup>1)</sup>

1) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 実験動物学研究室、  
2) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 分子育種学研究室、  
3) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 応用遺伝学研究室、  
4) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 獣医病理学研究室、  
5) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 臨床病理学研究室、  
6) 東京理科大学 生命医学研究所 実験動物学研究部門

## YO-06 IgG4 関連疾患の組織傷害は IgG4 抗体と CTLs の協調的反応で起こる

○佐々木 貴紀<sup>1)2)</sup>、久保 允人<sup>1)3)</sup>

1) 東京理科大学 生命医学研究所 分子病態学研究部門、2) 慶應義塾大学 医学部 リウマチ膠原病内科、  
3) 理化学研究所 IMS サイトカイン制御研究チーム

## YO-07 様々な脳内炎症における制御性 T 細胞の意義の解明

○伊藤 美菜子

慶應義塾大学 医学部 微生物学免疫学教室

### 12:00～13:00 ランチョンセミナー1

第1会場(3階 国際会議室)

座長：土橋 浩章(香川大学医学部附属病院 膠原病・リウマチ内科)

## LS1 自己免疫性疾患・炎症性疾患における IL-6 シグナル阻害の意義

○池田 啓

千葉大学医学部附属病院 アレルギー・膠原病内科

共催：中外製薬株式会社

### 12:00～13:00 ランチョンセミナー2

第2会場(4階 401+402)

座長：佐野 統(京都岡本記念病院 院長/兵庫医科大学 名誉教授)

## LS2 リウマチ性疾患におけるサイトカイン標的治療

○田中 良哉

産業医科大学 医学部 第1内科学講座

共催：あゆみ製薬株式会社

### 13:10～14:10 ポスター発表(P-14～P-31)

ポスター会場(3階 レセプションホール)

### 14:15～15:35 シンポジウム3

第1会場(3階 国際会議室)

座長：藤田 尚志(京都大学 ウイルス・再生医学研究所・分子遺伝学)

西小森 隆太(久留米大学 医学部 小児科)

## [ ウイルスと自己炎症疾患 ]

### S3-1 I型インターフェロン症：Aicardi-Goutières 症候群

○西小森 隆太<sup>1)</sup>、井澤 和司<sup>2)</sup>、八角 高裕<sup>2)</sup>

1)久留米大学 医学部 小児科、2)京都大学医学部附属病院 小児科

### S3-2 I型インターフェロノパチー(AGS 以外)

○井澤 和司<sup>1)</sup>、八角 高裕<sup>1)</sup>、西小森 隆太<sup>2)</sup>

1)京都大学医学部附属病院 小児科、2)久留米大学 医学部 小児科

### S3-3 MDA5の恒常的活性化がもたらすシングレトン・マートン症候群様の骨形成異常

○早田 信正<sup>1)</sup>、坂井 信裕<sup>2)</sup>、加藤 博己<sup>1)3)</sup>、高見 正道<sup>2)</sup>、藤田 尚志<sup>1)</sup>

1)京都大学 ウイルス・再生医学研究所 分子遺伝学分野、2)昭和大学 歯学部 歯科薬理講座、  
3)ボン大学 ボン大学病院 分子医学研究所

### S3-4 細胞質ウイルス RNA センサーの異常による自己免疫疾患

○藤田 尚志<sup>1)</sup>、大音 泰介<sup>1)</sup>、Abu Tayeh Ahmed<sup>1)</sup>、Emralino Lianne<sup>1)</sup>、Lee Sumin<sup>1)</sup>、  
清水 翔太<sup>1)</sup>、早田 信正<sup>1)</sup>、橋本 匡太<sup>1)</sup>、佐藤 沙耶<sup>1)2)</sup>、加藤 博己<sup>1)2)</sup>

1) 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 分子遺伝学分野、

2) Institute of Cardiovascular Immunology, University of Bonn

15:45～16:45

#### イブニングセミナー1

第1会場(3階 国際会議室)

座長：松井 聖(兵庫医科大学 内科学リウマチ・膠原病科)

### ES1 臨床応用が進むがん免疫療法の基礎

○西川 博嘉<sup>1)2)</sup>

1) 名古屋大学大学院医学系研究科、2) 国立がん研究センター 研究所

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社／小野薬品工業株式会社

15:45～16:45

#### イブニングセミナー2

第2会場(4階 401+402)

座長：田村 直人(順天堂大学 医学部 膠原病内科)

### ES2 脊椎関節炎 Update ～IL17阻害薬の役割～

○岸本 暢将

聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center

共催：ノバルティスファーマ株式会社

16:55～17:55

#### 特別講演

第1会場(3階 国際会議室)

座長：佐野 統(京都岡本記念病院 院長／兵庫医科大学 名誉教授)

### SL 免疫・炎症応答に関わるリボヌクレアーゼ Reganase-1

○審良 静男

大阪大学免疫学フロンティア研究センター

18:05～

#### 懇親会

ポスター会場(3階 レセプションホール)

8:30～9:30 **モーニングセミナー**

第1会場(3階 国際会議室)

座長：桑名 正隆(日本医科大学 アレルギー膠原病内科学)

**MS** TNF 阻害剤の基礎と臨床 ～ RA、SpA、BD の病態形成とサイトカイン～

○柱本 照

神戸大学大学院保健学研究科 臨床免疫学

共催：田辺三菱製薬株式会社

9:35～10:55 **シンポジウム4**

第1会場(3階 国際会議室)

座長：久保 允人(東京理科大学生命研 理研生命医学研究センター)

田中 良哉(産業医科大学 医学部 第1内科学)

[ トランスレーショナルリサーチを活かす産学共同と AMED 研究の現状と展望 ]

**S4-1** 経済産業省における医療機器産業政策について

○葭仲 潔

経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室

**S4-2** トランスレーショナルリサーチを活かす産学共同と AMED 研究の現状

○高子 徹

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

**S4-3** 組織的産学連携によるオープンイノベーション

○荒森 一朗

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 創薬戦略部

**S4-4** 分子の発見から実用化まで

○仲 哲治<sup>1)2)</sup>

1)高知大学 医学部 臨床免疫学講座、2)高知大学医学部附属病院 免疫難病センター

パネルディスカッション

司会進行：鈴木 忍(京都大学大学院医学研究科「医学領域」産学連携推進機構)

パネリスト：椛島 健治(京都大学大学院医学研究科 皮膚科学)

10:45～11:45 **若手奨励賞セッション2**

第2会場(4階 401 + 402)

座長：松島 綱治(東京理科大学生命医科大学研究所 炎症・免疫難病制御部門)

原 博満(鹿児島大学大学院歯学総合研究科 免疫学)

**YO-08** 転写因子 IRF5 を標的とした全身性エリテマトーデスの新規治療法開発

○佐藤 豪<sup>1)</sup>、藩 龍馬<sup>1)</sup>、菊地 雅子<sup>1)2)</sup>、真鍋 昭雄<sup>1)</sup>、田形 典子<sup>1)</sup>、西村 謙一<sup>2)</sup>、  
吉見 竜介<sup>3)</sup>、桐野 洋平<sup>3)</sup>、松本 佳子<sup>4)</sup>、日原 裕恵<sup>4)</sup>、伊藤 昌史<sup>4)</sup>、塚原 克平<sup>4)</sup>、  
中島 秀明<sup>3)</sup>、伊藤 秀一<sup>2)</sup>、田村 智彦<sup>1)</sup>

1)横浜市立大学 大学院医学研究科 免疫学、2)横浜市立大学 大学院医学研究科 発生成育小児医療学、

3)横浜市立大学 大学院医学研究科 幹細胞免疫制御内科学、

4)エーザイ株式会社 hhc データクリエーションセンター

**YO-09** Genotoxic なストレスに対する自然免疫応答に対する新規抑制因子の同定

○佐藤 精一、高岡 晃教

北海道大学遺伝子病制御研究所 分子生体防御分野

**YO-10** ケモカイン CCL28 を介した粘膜感染防御機構

○松尾 一彦<sup>1)</sup>、山本 真也<sup>1)</sup>、長久保 大輔<sup>2)</sup>、義江 修<sup>3)4)</sup>、中山 隆志<sup>1)</sup>

1) 近畿大学 薬学部 化学療法学研究室、2) 姫路獨協大学 薬学部 衛生化学研究室、

3) 近畿大学 医学部 名誉教授、4) The Kampo and Health Institute

**YO-11** ZNF598 は RIG-I を FAT10 化することにより自然免疫シグナルを減弱させる

○幸脇 貴久、王 冠明、押海 裕之

熊本大学大学院 生命科学研究部 免疫学講座

**YO-12** 難治性潰瘍性大腸炎に対する TNF 阻害薬の治療成績と薬剤選択

○河合 幹夫、佐藤 寿行、藤本 晃士、小柴 良司、小島 健太郎、横山 陽子、  
上子鶴 孝二、宮崎 孝子、樋田 信幸、渡辺 憲治、中村 志郎

兵庫医科大学 炎症性腸疾患内科

**YO-13** Elucidating the role of CTRP6 in renal fibrosis and acute kidney failure

○紀 熙華<sup>1)</sup>、村山 正承<sup>2)</sup>、岩倉 洋一郎<sup>1)</sup>

1) 東京理科大学生命医科学研究所 実験動物学部門、2) 関西医科大学附属生命医学研究所 モデル動物部門

11:00~11:45 **ポスター発表(P-14~P-31)**

ポスター会場(3階 レセプションホール)

11:45~12:15 **総 会**

第1会場(3階 国際会議室)

12:20~13:20 **ランチョンセミナー3**

第1会場(3階 国際会議室)

座長：佐野 統(京都岡本記念病院 院長/兵庫医科大学 名誉教授)

**LS3** インターフェロン、サイトカインによる過剰な炎症は  
妊娠合併症、胎児脳発達障害の原因となる

○齋藤 滋

富山大学

共催：旭化成ファーマ株式会社

12:20~13:20 **ランチョンセミナー4**

第2会場(4階 401+402)

座長：東條 有伸(東京大学医科学研究所)

**LS4** 関節リウマチの治療の現状 ~最適化した治療とその問題点~

○川人 豊

京都府立医科大学大学院医学研究科 免疫内科学

共催：帝人ファーマ株式会社

座長：佐野 統(京都岡本記念病院 院長／兵庫医科大学 名誉教授)  
善本 隆之(東京医科大学 医学総合研究所 免疫制御研究部門)

[ 臨床応用されたサイトカイン療法の現状と今後の展望 ]

**S5-1** リウマチ性疾患における TNF 阻害療法および IL-17 阻害療法の現状と今後の展望

○田村 直人  
順天堂大学 医学部 膠原病内科

**S5-2** 乾癬の IL-17A、IL-23 阻害療法における現状と今後の展望

○今井 康友  
兵庫医科大学 皮膚科学

**S5-3** 全身性強皮症におけるサイトカイン療法の現状と今後の展望

○桑名 正隆  
日本医科大学 アレルギー膠原病内科学

**S5-4** トランスレーショナルリサーチの先駆け：G-CSF の発見から臨床応用へ

○東條 有伸<sup>1)</sup>、浅野 茂隆<sup>2)</sup>  
1) 東京大学医科学研究所 分子療法分野、2) 早稲田大学 招聘研究教授・神戸大学大学院 客員教授

**S5-5** 非アルコール性脂肪性肝炎の発症やその疾患バイオマーカーとなるサイトカインの探索

○中野 裕康  
東邦大学 医学部 生化学講座

**S5-6** 分子シャペロンである calreticulin の遺伝子変異による新たな腫瘍化メカニズム

○小松 則夫  
順天堂大学 医学部 内科学血液学講座

座長：佐野 統(京都岡本記念病院 院長／兵庫医科大学 名誉教授)

受賞者

**AL-1** 伊藤 美菜子 慶應義塾大学 医学部 微生物学免疫学教室

**AL-2** 柳井 秀元 東京大学先端科学技術研究センター 炎症疾患制御分野社会連携研究部門

# ポスターセッション プログラム

第1日目 2019年8月2日(金)

会場：神戸国際会議場 ポスター会場(3階 レセプションホール)

## 13:10～14:10 ポスターセッション1

座長：森信 暁雄(神戸大学医学部附属病院 膠原病リウマチ内科)  
黒田 悦史(兵庫医科大学 免疫学講座)

### P-14 シェーグレン症候群における口腔内病変と唾液中 EGF の関係： 唾液分泌促進薬、ステロイド薬による影響の評価

○東 直人<sup>1)</sup>、片田 圭宣<sup>2)</sup>、北野 幸恵<sup>1)</sup>、西岡 亜紀<sup>1)3)</sup>、関口 昌弘<sup>1)4)</sup>、北野 将康<sup>1)5)</sup>、  
佐野 統<sup>1)5)</sup>、松井 聖<sup>1)</sup>

1) 兵庫医科大学 内科学 リウマチ・膠原病科、2) 堺市立総合医療センター リウマチ膠原病内科、  
3) 西宮渡辺病院 リウマチ科、4) 兵庫県立西宮病院 リウマチ科、5) 京都岡本記念病院 リウマチ・膠原病内科

### P-15 有機ゲルマニウム化合物 Ge-132 による ATP との錯体形成を介した インフラマソーム活性抑制効果

○安積 遵哉<sup>1)</sup>、島田 康弘<sup>1)</sup>、武田 知也<sup>1)2)</sup>、麻生 久<sup>2)</sup>、中村 宜司<sup>1)</sup>

1) 株式会社浅井ゲルマニウム研究所、2) 東北大学大学院 動物機能科学講座 機能形態学分野

### P-16 炎症性サイトカインを用いたアトピー性皮膚炎の拡大シミュレーション

○須藤 麻希

大阪大学 理学研究科 生物科学専攻

### P-17 シアル酸認識受容体 Siglec の新規脂溶性リガンドの発見

○三宅 靖延、末松 梨絵、吉田 裕樹

佐賀大学 医学部 分子生命科学講座 免疫学分野

### P-18 全身性エリテマトーデスモデルマウスにおけるアダプタータンパク SH3BP2 の役割の解明

○河原 恭子<sup>1)</sup>、向井 知之<sup>1)</sup>、長洲 晶子<sup>1)</sup>、井関 将典<sup>2)</sup>、赤木 貴彦<sup>1)</sup>、長洲 一<sup>3)</sup>、  
植木 靖好<sup>4)</sup>、守田 吉孝<sup>1)</sup>

1) 川崎医科大学 リウマチ・膠原病学、2) 川崎医科大学 免疫学、3) 川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学、  
4) Department of Biomedical Sciences and Comprehensive Care Indiana University School of Dentistry

## 13:10～14:10 ポスターセッション2

座長：藤井 隆夫(和歌山県立医科大学医学部 リウマチ・膠原病科学講座)  
吉田 裕樹(佐賀大学医学部分子生命科学・免疫)

### P-19 当科における SAPHO 症候群 30 症例の臨床的特徴について (サイトカインプロファイルによる解析も含め)

○田村 誠朗、吉川 卓宏、壺井 和幸、横山 雄一、古川 哲也、橋本 哲平、森本 麻衣、  
東 直人、松井 聖

兵庫医科大学 内科学 リウマチ・膠原病科

- P-20** 病原因子 Zmp1 欠損マイコバクテリアによる T 細胞免疫応答への影響  
○梅村 正幸<sup>1)2)3)</sup>、藏根 友美<sup>2)</sup>、中山 真彰<sup>4)</sup>、大原 直也<sup>4)</sup>、高江洲 義一<sup>1)2)5)</sup>、松崎 吾朗<sup>1)2)5)</sup>  
1)琉球大学 熱帯生物圏研究センター 分子感染防御学分野、  
2)琉球大学大学院 医学研究科 生体防御学講座、  
3)琉球大学 医学部 先端医学研究センター 動物実験分野、  
4)岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 口腔微生物学分野、  
5)琉球大学 医学部 先端医学研究センター 再生医療分野

- P-21** Inflammasome antagonism by murine parainfluenza virus type 1 V protein  
○田中 幸枝<sup>1)</sup>、小松 孝行<sup>2)</sup>、森田 奈央子<sup>2)</sup>、内記 良一<sup>2)</sup>、小出 直樹<sup>2)</sup>  
1)福井大学 医学部 分子生命化学、2)愛知医科大学 医学部 感染・免疫学講座

- P-22** 治療抵抗性の高安動脈炎症例における Tocilizumab 治療下での血清 IL-6 測定の意義について  
○壺井 和幸、野口 和照、横山 雄一、古川 哲也、中野 真依、荻田 千愛、田村 誠朗、吉川 卓宏、橋本 哲平、森本 麻衣、東 直人、松井 聖  
兵庫医科大学 内科学 リウマチ・膠原病科

- P-23** Regnase-1 degradation is crucial for interleukin-33- and interleukin-25-mediated ILC2 activation  
○松下 一史<sup>1)</sup>、田中 宏樹<sup>2)</sup>、審良 静男<sup>2)</sup>、安田 好文<sup>1)</sup>、黒田 悦史<sup>1)</sup>  
1)兵庫医科大学 免疫学講座、2)大阪大学免疫学 免疫学フロンティア研究センター 自然免疫学分野

13:10~14:10 **ポスターセッション3**

座長：松井 聖(兵庫医科大学内科学リウマチ・膠原病科)  
原 博満(鹿児島大学大学院医歯薬学総合研究科免疫学)

- P-24** IL-1/IL-33によるマウス子宮内膜症病変形成の促進  
○加藤 徹<sup>1)</sup>、安田 好文<sup>2)</sup>、松下 一史<sup>2)</sup>、廣田 誠一<sup>3)</sup>、善本 知広<sup>2)</sup>、黒田 悦史<sup>2)</sup>、柴原 浩章<sup>1)</sup>  
1)兵庫医科大学 産科婦人科学、2)兵庫医科大学 免疫学、3)兵庫医科大学 病理学・病理診断部門

- P-25** Staphylococcus aureus 感染における TLR2 欠損による感染防御反応の異常  
○伊 敏、小華和 柁志  
北海道大学医学研究院 中央研究部門

- P-26** Photopic light inhibits retinal inflammation through down-regulation of  $\alpha$ 1A-adrenoreceptor  
○上村 大輔、田中 勇希、村上 正晃  
北海道大学 遺伝子病制御研究所 大学院医学院 分子神経免疫学

- P-27** キャッスルマン病、リウマチ、健常人：  
サイトカイン・ケモカインパターンによる疾患特性から疾患分類への挑戦  
○宇野 賀津子<sup>1)</sup>、吉崎 和幸<sup>2)</sup>、谷川 美紀<sup>1)2)</sup>、藤宮 仁<sup>3)</sup>  
1)公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター、2)大阪大学 産業科学研究所、  
3)株式会社ダイナコム

座長：梶島 健治(京都大学大学院医学研究科 皮膚科学)

村上 正晃(北海道大学 遺伝子病制御研究所 大学院医学院 分子神経免疫学分野)

**P-28** IRF5 siRNA 含有生分解性脂質ナノ粒子はコンカナバリン A 誘導性肝障害を改善する

○川瀬 航<sup>1)</sup>、黒滝 大翼<sup>1)</sup>、鈴木 裕太<sup>2)</sup>、石原 比呂之<sup>2)</sup>、藩 龍馬<sup>1)</sup>、佐藤 豪<sup>1)</sup>、  
柳井 秀元<sup>3)</sup>、谷口 維紹<sup>3)</sup>、塚原 克平<sup>2)</sup>、田村 智彦<sup>1)</sup>

1) 横浜市立大学 大学院医学研究科 免疫学、2) エーザイ株式会社 hhc データクリエーションセンター、  
3) 東京大学 先端科学技術研究センター 炎症疾患制御分野社会連携研究分野

**P-29** トキソプラズマ慢性感染におけるストレスと免疫応答の相互作用  
—漢方「瀉心湯」の効果に注目して

○新庄 記子<sup>1)</sup>、彦坂 健児<sup>1)</sup>、野呂瀬 一美<sup>1)</sup>、吉田 裕樹<sup>2)</sup>

1) 千葉大学大学院 医学研究院 感染生体防御学、2) 佐賀大学 医学部 免疫学

**P-30** 構造安定化 lymphotactin/XCL1 によるがん免疫誘導機構

○亀井 萌百<sup>1)</sup>、松尾 一彦<sup>1)</sup>、北畑 孝祐<sup>1)</sup>、義江 修<sup>2)3)</sup>、中山 隆志<sup>1)</sup>

1) 近畿大学 薬学部 化学療法学研究室、2) 近畿大学 医学部 名誉教授、3) The Kampo and Health Institute

**P-31** 乾癬の発症および重症化における Th17 細胞遊走を介した  
ケモカイン受容体 CCR4 の役割

○北畑 孝祐<sup>1)</sup>、松尾 一彦<sup>1)</sup>、有馬 優香<sup>1)</sup>、岩間 有咲<sup>1)</sup>、長久保 大輔<sup>2)</sup>、義江 修<sup>3)4)</sup>、  
中山 隆志<sup>1)</sup>

1) 近畿大学 薬学部 化学療法学研究室、2) 姫路獨協大学 薬学部 衛生化学研究室、  
3) 近畿大学 医学部 名誉教授、4) The Kampo and Health Institute

11:00～11:45 **ポスターセッション5**

座長：大村 浩一郎（京都大学 免疫・膠原病内科）  
田川 陽一（東京工業大学生命理工学院）

**P-32** 筋修復に対するケモカイン受容体 CCR4 欠損の影響

○東山 慎太郎<sup>1)</sup>、松尾 一彦<sup>1)</sup>、畑 綾香<sup>1)</sup>、義江 修<sup>2)3)</sup>、中山 隆志<sup>1)</sup>

1) 近畿大学 薬学部 化学療法学研究室、2) 近畿大学 医学部 名誉教授、3) The Kampo and Health Institute

**P-33** ケモカイン受容体 CCR4 はアトピー性皮膚炎に重要な役割を果たす

○長尾 遥佳<sup>1)</sup>、松尾 一彦<sup>1)</sup>、長久保 大輔<sup>2)</sup>、義江 修<sup>3)4)</sup>、中山 隆志<sup>1)</sup>

1) 近畿大学 薬学部 化学療法学研究室、2) 姫路獨協大学 薬学部 衛生化学研究室、  
3) 近畿大学 医学部 名誉教授、4) The Kampo and Health Institute

**P-34** 交差反応抗体産生における IL-4 依存的胚中心反応の必要性

○矢島 泰生<sup>1)</sup>、宮内 浩典<sup>2)</sup>、久保 允人<sup>1)2)</sup>

1) 東京理科大学大学院 生命科学研究所 生命科学専攻、  
2) 理化学研究所 生命科学センター サイトカイン制御チーム

**P-35** 潰瘍性大腸炎患者に対するインフリキシマブの有効性と治療前の血清サイトカインの関連性の検討

○西田 裕

大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学

11:00～11:45 **ポスターセッション6**

座長：藤本 隆（奈良県立医科大学リウマチセンター）  
山崎 晶（大阪大学 微生物病研究所 分子免疫制御分野）

**P-36** 高齢関節リウマチ患者における生物学的製剤長期継続率の検討  
～ FIRST registry より～

○河邊 明男<sup>1)</sup>、中野 和久<sup>1)</sup>、久保 智史<sup>1)</sup>、中山田 真吾<sup>1)</sup>、岩田 慈<sup>1)</sup>、花見 健太郎<sup>1)</sup>、  
福興 俊介<sup>1)</sup>、宮川 一平<sup>1)</sup>、山口 絢子<sup>1)</sup>、宮崎 佑介<sup>1)</sup>、吉成 紘子<sup>1)</sup>、浅川 剛<sup>2)</sup>、  
田中 良哉<sup>1)</sup>

1) 産業医科大学 医学部 第一内科学講座、2) 産業医科大学 情報管理センター

**P-37** ケモカイン受容体 CCR4 の Th17 増殖を介した腫瘍免疫活性化における役割

○細川 隼矢<sup>1)</sup>、松尾 一彦<sup>1)</sup>、義江 修<sup>2)3)</sup>、中山 隆志<sup>1)</sup>

1) 近畿大学 薬学部 化学療法学研究室、2) 近畿大学 医学部 名誉教授、3) The Kampo and Health Institute

**P-38** ケモカイン受容体 CCR4 を標的とした Th2 細胞遊走阻害によるアトピー性皮膚炎治療

○須佐美 陽子、松尾 一彦、長尾 遥佳、中山 隆志

近畿大学 薬学部 化学療法学研究室

**P-39** ケモカイン受容体 CCR4 を介した Treg による抗原特異的免疫応答抑制メカニズム

○森末 悠亮<sup>1)</sup>、松尾 一彦<sup>1)</sup>、亀井 萌百<sup>1)2)</sup>、山本 真也<sup>1)</sup>、東山 慎太郎<sup>1)</sup>、義江 修<sup>2)3)</sup>、  
中山 隆志<sup>1)</sup>

1) 近畿大学 薬学部 化学療法学研究室、2) 近畿大学 医学部 名誉教授、3) The Kampo and Health Institute

座長：中野 和久(産業医科大学第1内科学講座)

善本 隆之(東京医科大学医学総合研究所 免疫制御研究部門)

**P-40** ストレス応答性サイトカインによる抗ウイルス自然免疫機構の制御

○小野口 和英、望月 幸村、米山 光俊

千葉大学 真菌医学研究センター 感染免疫分野

**P-41** 死細胞由来分子による免疫応答制御機構の解析

○柳井 秀元

東京大学先端科学技術研究センター 炎症疾患制御分野

**P-42** 内在性 RNA による炎症誘導機構の解明と抑制方法の開発

○根岸 英雄<sup>1)4)</sup>、遠藤 信康<sup>4)</sup>、中島 由希<sup>2)4)</sup>、西山 達明<sup>3)</sup>、西尾 純子<sup>2)4)</sup>、土肥 武<sup>3)</sup>、  
谷口 維紹<sup>2)4)</sup>

1) 東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 ワクチン科学分野、

2) 東京大学 先端科学技術研究センター 炎症・免疫制御学社会連携研究部門、

3) 興和株式会社 東京創薬研究所、4) 東京大学 生産技術研究所 炎症・免疫制御学社会連携研究部門

**P-43** ITAM-Card9 経路の GM-CSF 受容体シグナルへの関与

○飯笹 英一<sup>1)</sup>、三山 英夫<sup>1)</sup>、豊永 憲司<sup>2)</sup>、原 博満<sup>1)</sup>

1) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 感染防御学講座 免疫学、2) 大阪大学微生物病研究所 分子免疫制御分野

座長：川人 豊(京都府立医科大学 免疫内科学)

安田 好文(兵庫医科大学 免疫学)

**P-44** 関節リウマチ(RA)における Tofacitinib と Tocilizumab の臨床効果の比較検討

○吉成 紘子<sup>1)</sup>、久保 智史<sup>1)</sup>、中野 和久<sup>1)</sup>、齋藤 和義<sup>2)</sup>、中山田 真吾<sup>1)</sup>、花見 健太郎<sup>1)</sup>、  
岩田 慈<sup>1)</sup>、福與 俊介<sup>1)</sup>、宮川 一平<sup>1)</sup>、河邊 明男<sup>1)</sup>、宮崎 佑介<sup>1)</sup>、田中 良哉<sup>1)</sup>

1) 産業医科大学 医学部 第一内科講座、2) 戸畑総合病院 リウマチ内科

**P-45** 腫瘍組織におけるケモカイン CCL28 の発現とその役割

○山本 真也<sup>1)</sup>、松尾 一彦<sup>1)</sup>、山崎 真子<sup>1)</sup>、長久保 大輔<sup>2)</sup>、義江 修<sup>3)4)</sup>、中山 隆志<sup>1)</sup>

1) 近畿大学 薬学部 化学療法学研究室、2) 姫路獨協大学 薬学部 衛生化学研究室、

3) 近畿大学 医学部 名誉教授、4) The Kampo and Health Institute

**P-46** B細胞上の FcγRIIb 発現に与える IL-21 の影響

○藤岡 数記

京都府立医科大学大学院 免疫内科学

**P-47** IL-4 依存的に誘導される抗インフルエンザ広域中和抗体

○宮内 浩典<sup>1)</sup>、矢島 泰生<sup>2)</sup>、竹田 誠<sup>3)</sup>、久保 允人<sup>1)2)</sup>

1) 理化学研究所 生命医科学研究センター サイトカイン制御研究チーム、

2) 東京理科大学生命医科学研究センター 分子病態学研究部門、3) 国立感染症研究所 ウイルス三部

A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, providing a template for writing or drawing.

# 特別講演

## 免疫・炎症応答に関わる リボヌクレアーゼ Reganase-1

審良 静男

大阪大学免疫学フロンティア研究センター

座長：佐野 統 (京都岡本記念病院 院長 / 兵庫医科大学 名誉教授)

8月2日(金) 16:55～17:55

第1会場 (3階 国際会議室)

## 免疫・炎症応答に関わるリボヌクレアーゼ Regnase-1



## ○審良 静男

大阪大学免疫学フロンティア研究センター

## 略 歴

- 1977年3月 大阪大学医学部 卒業  
 1980年4月 大阪大学大学院医学研究科 (第3内科) 入学  
 1984年3月 同 修了
- 1977年6月 大阪大学附属病院内科 研修医  
 1978年6月 市立堺病院 内科医  
 1984年4月 大阪大学細胞工学センター免疫研究部門 日本学術振興会奨励研究員  
 1985年3月 米国カリフォルニア大学 バークレー校免疫学部 博士研究員  
 1987年6月 大阪大学細胞工学センター 免疫研究部門 助手  
 1995年5月 大阪大学細胞生体工学センター 多細胞生体系研究部門 助教授  
 1996年1月 兵庫医科大学生化学講座 教授  
 1999年4月 大阪大学微生物病研究所癌抑制遺伝子研究分野 教授  
 2005年4月 大阪大学微生物病研究所生体防御研究部門自然免疫学分野 教授 (改組に伴う部門名・分野名変更)  
 2007年10月 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 拠点長・教授  
 2011年10月 独立行政法人理化学研究所 生命システム研究センター 客員主管研究員  
 2011年10月～現在 兵庫医科大学 名誉教授  
 2012年1月 独立行政法人理化学研究所 横浜研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター 特別顧問 (非常勤)  
 2013年4月～現在 独立行政法人理化学研究所 統合生命医科学研究センター 特別顧問 (非常勤)  
 2013年7月 大阪大学 特別教授  
 2018年4月 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 拠点長・特任教授、大阪大学 名誉教授  
 2019年7月～現在 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任教授、大阪大学 名誉教授

免疫応答は、遺伝子発現のダイナミックな変化を伴う。NF- $\kappa$ B や AP-1 などの多くの転写因子が炎症・免疫応答に関わる遺伝子の誘導に関わる。しかし、最近、免疫応答において mRNA レベルの制御も転写制御と同じく重要な枠割を果たすことがあきらかとなってきた。われわれは、Zc3h12a 遺伝子によってコードされる Regnase-1 が IL-6, IL-12 さらには Regnase-1 それ自身の mRNA の分解にかかわる endoribonuclease であることをあきらかにした。これらの遺伝子の分解は、3'UTR に存在するステム・ループ構造を介して行われる。当初、LPS 誘導遺伝子として同定されたが、Regnase-1 蛋白は、非刺激の細胞内に存在し、トル様受容体からのシグナルでは IKK 依存性蛋白分解を介して、また T 細胞受容体からのシグナルでは Malt-1 による切断によって分解される。このように Regnase-1 は、非刺激状態ではブレーキ役として、刺激時にはネガティブフィードバック制御分子として働く。最近、われわれは、IL-17 シグナルも Regnase-1 の機能を抑制することを見出した。免疫応答における Regnase-1 の役割について述べてみたい。

キーワード：自然免疫、mRNA 不安定化、シグナル伝達

# 名誉会員・学会役員

## 名誉会員

新井 賢一	
笠倉 新平	
岸本 忠三	大阪大学大学院 生命機能研究科 免疫制御学講座
小島 保彦	NPO 法人インターフェロン・ハーブ研究所
高津 聖志	富山県薬事研究所
谷口 維紹	東京大学生産技術研究所
長田 重一	京都大学大学院 医学研究科 分子生体統御学講座 分子生物学分野
平野 俊夫	大阪大学大学院 生命機能研究科/医学系研究科 免疫発生学研究室(C7) (旧腫瘍病理)
本庶 佑	京都大学大学院 医学研究科 免疫ゲノム医学講座

(五十音順、敬称略)

## 学会役員

会 長 任期：2022年総会まで

高岡 晃教	北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子生体防御分野
-------	--------------------------

選出幹事 任期：2022年総会まで

岩倉 洋一郎	(-2022まで選出幹事) 東京理科大学 生命医科学研究所 実験動物学研究部門
角田 茂	東京大学大学院 農学生命科学研究科 獣医学専攻 病態動物医科学講座 獣医実験動物学
田中 良哉	産業医科大学医学部第一内科
高岡 晃教	(-2022まで選出幹事) 北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子生体防御分野
村上 正晃	北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子神経免疫分野
米山 光俊	千葉大学 真菌医学研究センター 真菌症研究部門 感染免疫分野

選出幹事 任期：2020年総会まで

久保 允人	東京理科大学 生命科学研究所 分子病態学研究部門
熊ノ郷 淳	大阪大学大学院 医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学
藤田 尚志	京都大学ウイルス研究所 分子遺伝学研究分野
松島 綱治	東京大学 大学院医学系研究科分子予防医学
吉田 裕樹	佐賀大学 医学部分子生命科学講座 免疫学分野
吉村 昭彦	慶應義塾大学 医学部微生物学・免疫学教室

推薦幹事 任期：2022年総会まで

伊川 友活	理化学研究所 生命医科学研究センター
押海 裕之	熊本大学大学院 生命科学研究部 免疫学分野
河合 太郎	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス領域 分子免疫部門
竹内 理	京都大学大学院医学研究科 感染防御研究分野
田中 智彦	横浜市立大学 医学研究科 免疫学
辻 典子	独立行政法人 産業技術総合研究所
原 博満	佐賀大学 医学部 分子生命科学講座 生体機能制御学分野
善本 隆之	東京医科大学 医学総合研究所 免疫制御研究部門
山本 雅裕	大阪大学 微生物病研究所 感染病態分野
渋谷 和子	筑波大学 医学医療系

**推薦幹事** 任期：2020年総会まで

宇野 賀津子	財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター IFN・生体防御
田川 陽一	東京工業大学大学院 生命理工学研究所
茶山 一彰	広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 消化器・代謝内科学
中島 裕史	千葉大学大学院 医学研究院 アレルギー・臨床免疫学
西口 修平	兵庫医科大学 医学部内科学 肝・胆・膵科
山崎 晶	九州大学 生体防御医学研究所 感染ネットワーク研究センター 免疫制御分野

**会計監査** 任期：2020年総会まで

瀬谷 司	北海道大学大学院 医学研究科 免疫学分野
中西 憲司	兵庫医科大学 免疫学

**Newsletter 委員**

**編集委員長**

角田 茂	東京大学大学院 農学生命科学研究科 獣医学専攻 病態動物医科学講座 獣医実験動物学
------	---

**委員**

佐野 統	兵庫医科大学 医学部 内科学 リウマチ・膠原病科
田川 陽一	東京工業大学大学院 生命理工学研究所 生体分子機能工学専攻
田中 良哉	産業医科大学 医学部 第一内科学教室
吉田 裕樹	佐賀大学 医学部 分子生命科学講座免疫学分野
山本 雅裕	大阪大学 微生物病研究所 感染病態分野
中島 裕史	千葉大学 医学研究院 アレルギー臨床免疫学
石亀 晴道	理研 生命医科学研究センター 組織動態研究チーム

**名誉委員**

宇野 賀津子	公益財団法人 ルイ・パストゥール医学研究センター 基礎研究部 インターフェロン・生体防御研究室
--------	---

**奨励賞選考委員** 任期：～2020年総会まで

**選考委員長**

原 博満	佐賀大学 医学部 分子生命科学講座 生体機能制御学分野
------	-----------------------------

**委員**

田川 陽一	東京工業大学大学院 生命理工学研究所 生体分子機能工学専攻
吉村 昭彦	慶應義塾大学 医学部微生物学・免疫学教室
熊ノ郷 淳	大阪大学大学院 医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学
茶山 一彰	広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 消化器・代謝内科学

**〈ICIS との連携〉**

**ICIS Council Member**

吉田 裕樹	佐賀大学 医学部分子生命科学 学講座免疫学分野
-------	-------------------------

**ICIS Meetings Committee**

久保 允人	東京理科大学 生命科学研究所 分子病態学研究部門
-------	--------------------------

## ご協賛企業各社

旭化成ファーマ株式会社

アステラス製薬株式会社

アストラゼネカ株式会社

アッヴィ合同会社

あゆみ製薬株式会社

エーザイ株式会社

小野薬品工業株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

第一三共株式会社

田辺三菱製薬株式会社

中外製薬株式会社

帝人ファーマ株式会社

東和薬品株式会社

トミーデジタルバイオロジー株式会社

日本イーライリリー株式会社

西宮渡辺病院

ノバルティスファーマ株式会社

ブリistol・マイヤーズスクイブ株式会社

ユーシービージャパン株式会社

行岡病院

第84回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会を運営するに当たり、上記の企業からご協賛をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

第84回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会

大会長 佐野 統

第84回日本インターフェロン・サイトカイン学会  
学術集会

---

発行日：2019年8月

大会長：佐野 統

事務局：兵庫医科大学内科学 リウマチ・膠原病科  
〒663-8501 西宮市武庫川町1-1  
TEL：0798-45-6591 FAX：0798-45-6593

運営事務局：株式会社 エー・イー企画 大阪オフィス内  
〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14 新大阪グランドビル6階  
TEL：06-6350-7247 FAX：06-6350-7164  
E-mail：jsicr84@aeplan.co.jp

出版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<https://secand.jp/>